

一般質問

富岡 節子 議員

ICウオークの設置を

「健康増進に有効な手段の一つ」



三郷市みさと公園内のICウオーク

議員 他市では、ICウオークというシステムの利用により、市民のコミュニケーションを図ったり、また、健康増進に大変喜ばれて



スも距離も制約なしに歩いていただき、健康増進につながることを趣旨としている。費用面も勘案して、健康増進に有効な手段の一つとして認識した。

議員 導入に向けた検討を要望する。

健康診断の申込方法の改善を

議員 本市の健康診断

は、事前に葉書にて希望を申し込むことになっているが、健診当日に窓口にて申し込み内容をチェックできないか、事前の葉書も節約できるのではないかと

整の上、取り組む。学級閉鎖等による授業の遅れ対策は

議員 遅れた授業の対策は検討しているか。

議員 各校では対策を講じている。さらに、補習授業等を行うのは検討課題になる。

議員 発表の実績に市民生活の評価が余り見えない。自身の評価は

議員 発表の実績に市民生活の評価が余り見えない。自身の評価は

市長 多くの実績を載せたかったが、それはできないから、選んだものである。いろいろ批判をいただきながら、今後も市民生活向上を図っていく。

市長マニフェストの

自己評価は

「十分合格点に達していると考える」

議員 市長が2006年に掲げたマニフェストについて全体的にどう評価されているのか。

市長 全体的な評価は、十分合格点に達していると考える。

議員 市長は市職員を10年間で11.2%削減したことを実績として

市長 正規職員の削減は、行財政改革の手法の一つとして進めている。物件費は



▲市政充実に向けて活発な論議が交わされています

議員 非正規職員が増えることが官製ワーキングプアの増加につながるのと批判がある。

市長 現在働いている人を見れば理解いただける。一日の時間をはじめ、多様な働き方が

岡寄 郁子 議員

足りない特養ホーム 具体的な方針は

「25年にはオープンしたい」

議員 現在、特養ホームの待機者は932人。市内だけでも481人になる。神保市長が公表したマニフェストには、「特養ホーム24年度着工」との記述があるが、場所や定員など、具体的な方針を市民に示すべきではないか。

市長 具体的な検討はこれからだが、25年にはオープンしたい。

議員 都内と同様に、障がい者と介助者の利用料を減免できないか。

スポーツセンター 利用料金の障がい者減免を

市民生活部長 障がい者の体力向上

市長 具体的な検討はこれからだが、25年にはオープンしたい。



▶いい汗を流しています...スポーツセンターにて

考えており、検討する。

議員 利用者から「施設が狭すぎる」との声がある。市の対策は。

福祉部長 利用者が不便なく運営できるように支援する。

議員 利用者から「施設が狭すぎる」との声がある。市の対策は。

聴覚障がい者の文字放送視聴に支援を

議員 地デジテレビには字幕放送が標準でついている。聴覚障がい者の日常生活用具として、購入に補助を。

福祉部長 地デジテレビは一般に普及しているものであり、日常生活用具には加えられない。

失業給付終了者等の

救済対策を

「生活資金貸付などで対応」

議員 厚生労働省では今年6月から12月に失業給付が終了する人は約39万人と推計している。仕事が激減し廃業する業者も続出し

議員 川口市では市民が住宅リフォームを市内業者に依頼すれば、金額の5%、10万円を限度に助成し、市民の住環境の向上と建設関連業者の仕事を起すの大

住宅リフォーム助成、公契約条例の制定を

手当緊急特別措置事業、生活困窮者には生活保護で対応している。

きな役割を果たしている。本市でも実施を。

都市整備部長

市独自の住宅リフォームへの支援は考えていない。

議員 古い住宅の耐震化は、ほとん

耐震診断、耐震改修の補助制度を抜本的に改



▲住宅等のリフォームを不況対策に

善・充実した制度の継続が必要。

財務部長 国・県・他市の動向に着目しながら、本市の対応を見極めたい。

議員 公契約に従事する労働者の適正な労働条件を確保するため、公契約条例の制定が必要ではないか。

※ ICウオーク…専用コースをICカードを持って歩き、チェックポイントにICカードかざすだけで、歩行距離、歩行時間・消費カロリー・目標達成率などをインターネットから確認できるシステム。